

新聞購読始まりました

NIEの実践が始まり、学校に新聞が届くようになりました。今まで学校で図書館用に購入していた「茨城新聞」に加え、今月は「朝日新聞」と「毎日新聞」が届いています。1階と2階にそれぞれNIEコーナーを設置して、新聞を置くようにしました。

さっそく、休み時間などに新聞を手に取り、読む生徒もいました。今後は、下記の購読計画に従って、複数の新聞が届きます。せっかくの機会ですので読み比べてもらえればと思います。

新聞購読計画

朝日新聞	9月～12月
毎日新聞	9月～12月
読売新聞	11月～2月
日本経済	11月～2月
東京新聞	11月～2月
産経新聞	12月～3月
茨城新聞	12月～3月



NIEコーナーで新聞を読む生徒たち

今年は国体、来年は東京オリンピックとスポーツで盛り上がる茨城県。本校でも、「いきいき茨城ゆめ大会」に団体・個人合わせて7種目22人が選手に選ばれ、6日には生徒会による壮行会を行いました。

「いきいき茨城ゆめ国体」にも、開会式に、本校2年生がダンスで参加します。

その国体に男女総合優勝した都道府県に授与されるのが、左の記事の写真にある天皇杯です。なんと純銀製。女子総合優勝で授与される皇后杯とあわせて、9月27日まで(21日を除く)、県立歴史館に展示されています。前回、茨城で実施された1974年大会では、見事、茨城県が天皇杯、皇后杯とも獲得したそうです。

頑張れ！茨城！！

頑張れ！高特！！

みんなで応援しましょう。

気になる記事コーナー2

純銀製の天皇杯に見入る子どもたち。水戸市緑町

天皇杯と皇后杯公開

県立歴史館 来場者「熱い思い伝わる」

あじうた情報の機嫌が側面を二周し、台座と脚の部分に第3回大会以降の歴代獲得都道府県名が刻まれている。1974年の第29回大会で開催優勝した本県の名も刻まれている。

28日に開幕する第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」をPRしようと、天皇杯と皇后杯の一般公開が5日、水戸市緑町の県立歴史館で始まった。両賜杯が事前に公開されるのは全国で初めて、中央に菊の紋章が刻まれた重厚な賜杯が展覧ケースの中でぎらりと輝き、来場者の目を引き付けている。

(24面に関連記事)

天皇杯は男女総合優勝、皇后杯は女子総合優勝した都道府県にそれぞれ授与される。歴史館が日本スポーツ協会から借り受け、同日開幕したテーマ展「いはらきスポーツのあゆみ」の目玉として展示した。いずれも純銀製で、菊を

見学に訪れた水戸市内の中学1年生、男子生徒(12)は「ただで努力しても手にできない。多くの選手の熱い思いが伝わってくる」と話した。両賜杯の展示は21日を除く27日まで。

クローズアップ
HPに動画
掲載中

茨城新聞 9月6日(金)の記事